

事業所名

こすもす

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬 …… すべてに尊敬の念と感謝の心を忘れずに</li> <li>・愛 …… わけへだてのない愛情をふりそそぐこと</li> <li>・信 …… 信じ合うことのできる人間を</li> </ul>		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの発達や個性を大切にしながらサポートします。</li> <li>・成功体験を重ね、達成した喜びを感じることで、「できた」という気持ちを自信に繋がります。</li> <li>・小集団生活の中で人間関係を培い、社会性を育て、集団へ目指します。</li> </ul> <p>①基本的な生活訓練          基本的な生活習慣（食事、排泄、着脱、清潔）の改善を図る。          種々の遊びを通して、人間関係の基礎を身に付ける。</p> <p>②生活の豊かさの追及          身体の機能訓練のみに重点を置かず、生活の豊かさを広げるための支援に重点を置く。          保護者、家族に対する支援を推進する。（子育て相談、勉強、趣味的活動）</p> <p>③地域の事業に積極的に参加          地域に開かれた運営を心がけ、積極的に地域活動に参加すること、また、地域社会に情報を発信できる事業所を目指す。          公共の交通機関、公共の施設の積極的な活用を心がける。</p>		
営業時間	午前 9 時 から 午後 6 時	送迎実施の有無	あり（保護者による送迎が困難な方が対象になります）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	体温や表情等により健康管理を行います。些細な事でも心身の異変に気付けるように観察を行います。 活動中の水分補給や部屋の換気に注意を払い、感染症の予防に努めます。 登所、降所時の衣服等の着脱、荷物の整理、提出物の管理等の身の周りの自立に向けた動作を練習していきます。 食事、排泄等がスムーズにできるように支援していきます。トイレトレーニングを進めていきます。 一日のスケジュールを視覚（文字・絵・写真）や個別に声掛けをする等の支援を用いて伝えていきます。	
	運動・感覚	プログラム活動で運動やゲーム等で身体を動かし、身体機能の向上を目指します。 活動や日常生活において立位や座位の姿勢保持の仕方を伝えていきます。 自由時間においては児の好きな遊びを中心に行い、必要に応じて身体を動かしたり、手先を動かしたりして遊びを広げながら運動や感覚を伸ばしていきます。	
	認知・行動	文字・色・数・時間の概念は、プログラム活動や様々な場面において支援していきます。 いろいろな拘りに対して軽減できるように適切な環境に整えていきます。 順番に並ぶ際、足形を置いて並ぶ場所を知らせ、並び方を習得していけるようにしていきます。	
	言語 コミュニケーション	各々の児に応じた方法で簡単な言葉等を用いて会話をを行い、他者との関わりを持てるようにします。 ジェスチャー・アイコンタクト・絵カード・サインなどを用いて、言語以外でコミュニケーションをとる方法を習得できるようにしていきます。 来所時や降所時の挨拶をはじめ、様々な場面での挨拶を児に応じた方法で行っていきます。 児同士でのやり取りの場面では、必要に応じて職員が間に入り補助をしていきます。	

	人間関係 社会性	就園や就学の備え、他者と関わる方法を身に付けられるようにします。 集団でのルールや約束事を習得できるように支援していきます。 他者との適切な距離を習得できるように、適切な距離を知らせていきます。 初めての母子分離であることも想定して、児や保護者の気持ちに寄り添いながら、職員との信頼関係を構築していきます。	
	家族支援	移行支援	送迎時の引継ぎ、連絡帳、電話連絡時に情報を共有します。 相談室において面談や相談支援を行います。 併用利用児の保育所や幼稚園と情報を共有します。  保育所、幼稚園、他事業所、相談支援事業所と情報交換や担当者会議を行い、共通の認識で支援を行います。
	地域支援・地域連携	職員の質の向上	地域のイベントに参加したり、近隣の方との交流会を行います。  心理士とのコンサルテーション 外部研修の参加
	主な行事等 七夕会、クリスマス会等の季節の行事・施設見学・公共交通機関での外出・かかしコンテスト・作品展・夏祭りで放デイと交流会・発表会など		

事業所名

こすもす

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬 …… すべてに尊敬の念と感謝の心を忘れずに</li> <li>・愛 …… わけへだてのない愛情をふりそそぐこと</li> <li>・信 …… 信じ合うことのできる人間を</li> </ul>		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの発達や個性を大切にしながらサポートします。</li> <li>・成功体験を重ね、達成した喜びを感じることで、「できた」という気持ちを自信に繋がります。</li> <li>・小集団生活の中で人間関係を培い、社会性を育て、集団へ目指します。</li> </ul> <p>①基本的な生活訓練 基本的な生活習慣（食事、排泄、着脱、清潔）の改善を図る。 種々の遊びを通して、人間関係の基礎を身に付ける。</p> <p>②生活の豊かさの追及 身体の機能訓練のみに重点を置かず、生活の豊かさを広げるための支援に重点を置く。 保護者、家族に対する支援を推進する。（子育て相談、勉強、趣味的活動）</p> <p>③地域の事業に積極的に参加 地域に開かれた運営を心がけ、積極的に地域活動に参加すること、また、地域社会に情報を発信できる事業所を目指す。 公共の交通機関、公共の施設の積極的な活用を心がける。</p>		
営業時間	午前 9 時 から 午後 6 時	送迎実施の有無	あり（保護者による送迎が困難な方が対象になります）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<p>体温や表情等により健康管理を行います。些細な事でも心身の異変に気付けるように観察を行います。 活動中の水分補給や部屋の換気に注意を払い、感染症の予防に努めます。 登所、降所時の衣服等の着脱、荷物の整理、提出物の管理等の身の周りの自立に向けた動作を練習していきます。 食事、排泄等がスムーズにできるように支援していきます。 一日のスケジュールを視覚（文字・絵・写真）や個別に声掛けする等の支援を用いて伝えていきます。</p>	
	運動・感覚	<p>プログラム活動で運動やゲーム等で身体を動かし、身体機能の向上を目指します。 活動や日常生活において立位や座位の姿勢保持の仕方を伝えていきます。 音楽療法では楽器演奏やリズムダンスを行います。 自由時間においては児の好きな遊びを中心に行い、必要に応じて身体を動かしたり手先を動かしたりして遊びを広げながら運動や感覚を伸ばしていきます。</p>	
	認知・行動	<p>文字・色・数・時間の概念は、プログラム活動や様々な場面において支援していきます。 いろいろな拘りに対して軽減できるように適切な環境に整えていきます。 活動のスタート位置に足形を置き、立ったり待ったりする場所を知らせ、活動の始終を知らせていきます。</p>	
	言語 コミュニケーション	<p>個人に応じた方法で簡単な言葉等を用いて会話を行い、他者との関わりを持てるようにします。 ジェスチャー・アイコンタクト・絵カード・サインなどを用いて言語以外でコミュニケーションをとる方法を習得できるようにしていきます。 来所時や降所時の挨拶をはじめ、様々な場面での挨拶を児に応じた方法で行っていきます。 児同士でのやり取りの場面では必要に応じて職員が間に入り補助をしていきます。</p>	

	人間関係 社会性	互いに協力する中で達成できる活動を取り入れ、助け合ったり許し合ったりできることを目指して活動していきます。 集団でのルールや約束事を習得できるように支援していきます。 机拭きやあいさつ等の係り活動を行い、集団の中での役割分担を果たし、集団の一員である事を認識していきます。 他者との適切な距離を習得できるように適切な距離を知らせていきます。 児によって対職員であったり、対同年代の友達であったり、対異年齢であったりしながら、様々な年齢との関係の構築を目指して集団活動を行います。		
	家族支援		移行支援	学校・他事業所・相談支援事業所と情報交換や担当者会議を行い、共通の認識で支援を行います。
	地域支援・地域連携		職員の質の向上	心理士とのコンサルテーション 外部研修の参加
	主な行事等	夏祭りやクリスマス会等の季節の行事・土曜日の特別プログラムとしての外出・施設見学・公共交通機関の利用・かかしコンテスト・作品展など		